

もしものときに正しく119番通報できますか？

消防局通信指令課で受理する119番通報は、年間約6,900件(平成26年)にもおよびます。このうち、約1,400件は問い合わせやいたずら電話、間違い電話です。また、119番通報を受理した際に、「隣の家が火事！」「交通事故でけが人がいます！」とだけ話し、電話を切られる方もいらっしゃいます。正確な場所や情報が把握できないと、消防車や救急車を出場させることができません。119番通報の際は、ゆっくり、落ち着いて伝えるようにしてください。

119番通報は落ち着いて正確に！

もしものときの119番通報要領

救急のとき

局番なしの119番をダイヤル

消防署です。火事ですか、救急ですか？

救急です。

住所と名前を教えてください。

〇〇町△△△番地の□□□□です。

火事のとき

局番なしの119番をダイヤル

消防署です。火事ですか、救急ですか？

火事です。

住所と名前を教えてください。

□□町〇丁目1番△号の□□□□です。

119番通報を受理した際、発信地の地図が自動で表示されるシステムとなっておりますが、電話機の種類によっては誤差が生じるため、緊急車両が向かう住所を正確に伝えてください。

どなたがどうされましたか？

父が頭が痛いといわれ倒れました。

意識はありますか？

意識はあります。

お父さんは何歳ですか？

70歳です。

あなたの名前と今お使いの電話番号を教えてください。

名前は□□□□です。

電話は〇〇-〇〇〇〇です。

救急車を向かわせましたので、救急隊のサイレンが聞こえてきたら誘導してください。

何が燃えていますか？

自宅の台所が燃えています。

逃げ遅れやけが人はいませんか？

全員外に逃げて無事です。

あなたの名前と今お使いの電話番号を教えてください。

名前は□□□□です。

電話は〇〇-〇〇〇〇です。

消防車を向かわせました。安全な場所に避難し、消防車のサイレンが聞こえてきたら、誘導してください。

119番は、火災・救急・救助を要請する緊急回線です。119番での問い合わせやいたずら電話は絶対にやめましょう！

露店等の開設には届出が必要です！

平成25年8月、京都府福知山市の花火大会に出店していた露店で、携行缶から噴き出したガソリンに引火爆発する事故がありました。多くの見物客らが病院に運ばれ、10歳の男の子を含む3名の尊い命が失われました。

このような事故の再発防止のため、イベント等で対象火気器具等を使用する露店等を出店するときは、消防署への届出と、消火器の設置が義務付けられました。

露店等とは

屋外での祭りや各種団体等が主催するイベント等で、露店・屋台等の店を出店し、食料・物品等を販売するものをいいます。

対象火気器具とは

液体燃料(ガソリン等)、気体燃料(プロパンガス等)、固体燃料(木炭等)または電気を熱源とし、火気を使用する器具等で、発電機・こんろ・カセットコンロ・フライヤー・ホットプレート等をいいます。

届出は

お近くの消防署へ所定の様式で届け出てください。ご不明な点は、消防局予防課(☎22-0135)またはお近くの消防署へお問い合わせください。

消防ミニ図鑑 No.35

「水槽付消防ポンプ自動車(タンク車)」

平成27年3月に、中央消防署南部分署に更新配備された水槽付消防ポンプ自動車(災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車)について紹介します。

この車両は一般にタンク車と呼ばれ、2,000ℓの水を積載し、火災現場の最前線で放水活動を行うことができる車両です。最新の装備として、クラスA火災(木材や紙、布等が燃える火災)専用の泡消火システムが備えられており、ボタン一つで水と泡の放水を切り替えることができます。

■車両諸元

- ・総排気量 6,400cc
- ・車長 7.27 m
- ・車幅 2.28 m
- ・車高 2.86 m
- ・総重量 10,010kg
- ・定員 6人



高江保育園の園児による防火の呼びかけ

防災研修センターでの初期消火体験 (祁答院町黒木小学校)

編集：薩摩川内市消防局予防課 / <http://www.satsumasendai-fd.jp>

薩摩川内市消防局

検索

集中豪雨から身を守るために・・・

集中豪雨とは、短時間のうちに集中して降る豪雨のことで、梅雨の終わりごろによく起こります。また、台風に伴って発生する場合があります。突発的に降る雨は狭い地域に限られ、予測が困難であることから、気象情報や起きている現象から危険レベルを判断し、行動することが重要です。

昨年8月に広島市北部を襲った局地的な豪雨は、土砂災害を発生させ、74名もの尊い命が一瞬にして失われました。

このような災害は、いつどこで発生するかわかりません。正しい知識を持ち、豪雨災害から身を守りましょう！



写真提供：広島市消防局

集中豪雨の危険を知る

- 短時間で危険水位に
河川、溪流、用水路等は、激しい雨が降ることや雨が流れ込むことで、数分から数十分で危険な状態となります。
- 下水の排水能力を超える大雨
下水道の雨水処理能力を超える豪雨により、内水氾濫の危険性が高まります。
- 注意報や警報が出ない雨でも災害が発生
大雨や洪水の警報・注意報の発表基準に達していないわずかな雨でも災害が発生する恐れがあります。
- 離れた場所の雨でも影響する
自分のいる場所で強い雨が降ってなくても、上流で降った雨が流れてくることで危険な状態になることがあります。

集中豪雨に備える

- もしものときに備え、非常持出袋を用意しておく。
- 家族で避難場所と避難コースを確認しておく。
- 雨に関する情報が出されたら、注意深く聞く。
- 危険を感じたら、速やかに避難する。



避難のための3原則

- ・「想定にとらわれるな」相手は自然。常に想定外を認識しておく。
- ・「最善を尽くせ」 「これで大丈夫」ではなく、そのときにできる最善の対応行動をとる。
- ・「率先避難者たれ」 まず自分が率先して避難すること。その姿を見て、他の人も避難することになります。

〔岩手県釜石市の津波防災教育より〕

★お住まいの地域、お勤め先付近の避難場所を確認しておきましょう！

市内各地域ごとに避難場所が決められています。各世帯に配付してある「防災マップ」で避難場所を確認しておきましょう。

「防災マップ」は薩摩川内市ホームページからご覧いただけます。

URL: <http://www.city.satsumasendai.kagoshima.jp/bousai/bousaimap/>

